

発達がゆっくりの子のための 入学準備講座

講師：西岡 有香さん

特別支援教育士資格認定協会 理事 特別支援教育士SV
大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士

日時：令和7年1月28日（火）10：00 ～ 12：00

場所：大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室

発達のゆっくりした子どもが小学校に入学するにあたり、入学前に家庭で取り組めることについて学ぶ講座を開催しました。

子どもが楽しく小学校に通うためにも、普段から子どもの様子を注意深く見て、子どもの『苦手』、『できない』を保護者が知ること、また、日々の暮らしのなかで道具の工夫や、遊びとしてのトレーニングなどで、ともに『できる』を伸ばし、広げていくこと、毎日の積み重ねによる成長を焦らず長い目で見守ることが大切だと学びました。

うちのこ、こんなことが苦手かも？確認したいこと（抜粋）

体力不足かも？ → 運動して体力をつけよう！

- ・学校までランドセル（荷物）を持って歩けるかな？
- ・長時間まっすぐ座ってられるかな？

不器用さんかも？ → 指の運動、指遊びでトレーニングしよう！

- ・制服をひとりで着れるかな？ボタンをはずしたりはめたりできるかな？

そのほかにも…

- ・右と左の区別は大丈夫かな？ → 爪にマークを書いて、目印にしてみよう！
- ・左利きだけど、右手用の道具で作業できるかな？ → 左利き用の道具を使おう！
- ・「てにをは」ちゃんと使い分けできてるかな？ → 保護者も普段から省略せずに意識して使おう！
- ・「れ」「ね」「あ」「め」「い」「り」など、似たかたちの文字の区別は大丈夫かな？
→ ワークブックなどを使ってみよう！

子どもの『できない』にイライラしないこと！なにごとに1日2日では身につけません。

保護者の『なんでできないの？』は子どもの『嫌』のもと。“『できた』らほめる！”が大事です！

講座内容より



参加者アンケートより

- ・ 具体的な内容で、ワークブックなどの紹介もあり、すごくわかりやすく、ためになった。
- ・ できないところ、追いつかせることばかりに目が向きがちだったが、大切なことはそうではないことがよく分かり、心が軽くなった。その子なりの『出来た』を大切に道具の工夫、活用もしてどうすれば『楽しく』できるようになるか、その方法を考えていきたいと思う。
- ・ どうしても『苦手なところを人並みに…』と、特に父親がそうなりがち。先生からの助言、学びを父親と共有して時間をどう使うか、自己肯定感を伸ばしていけるように環境づくりをしていこうと思う。
- ・ とても詳しく一つ一つを教えてもらい、大変勉強になった。自身の性格上、つい、できるだけ『みんなと同じようにできることが良い』と思い込んでしまっていたところがあり、そんなことはなく、一人一人に合わせてできるだけしんどくならないように楽しくできる工夫をしたらいいいんだ、ということに気付かせてもらえた。父親と共有して4月からに備えます。勇気を出して来て本当に良かった。
- ・ 言語の先生の講座で、期待して参加した。想像していた10倍、内容がとても良く、小学校に入る親は聞いた方が良くと思う内容だった。限られた時間の中、何を優先すべきか悩み、心配していたが、大人のソーシャルスキルも教えてもらい、レベルアップできた。仕事を休み参加してよかった！
- ・ 研修だけでなく、エルム大阪や教材についての紹介もあり、非常に有意義な時間だった。
- ・ 講師の話し方がとても分かりやすく、もっと聞きたかった。
- ・ 具体例を出してくれたり、非常に分かりやすく、聞きやすかった。
- ・ どういうところに着目して困りごとをみつけてあげるか、ということのヒントをもらえた。
- ・ とても具体的で分かりやすく、入学後のことがイメージしやすかった。先生の話参考に準備していきたいと思う。友人にも共有します。
- ・ 家で実践できることをやってみようと思う。